

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-4
治安対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

地域課長 西尾 透

電話番号

0852-26-0110 (代)

事務事業の名称	街頭活動強化事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	交番の地域警察官によるパトロールや訪問による街頭活動を強化し、住民の安心感と体感治安の向上を図る。
事業概要	各交番（15カ所）に交番相談員2人を配置することにより、交番における不在時間を解消するとともに、地域警察官によるパトロールや訪問による街頭活動を強化して住民の安心感と体感治安の向上を図るもの。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 街頭活動時間	目標値		800.0	800.0	800.0	800.0	時間
		取組目標値						
	式・定義 交番勤務員一人当たりの街頭活動（パトロール+訪問）時間を1当務約30分増加して、年間800時間	実績値	774.5	767.5				
		達成率	-	96.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	65,117	72,756
うち一般財源 (千円)	65,117	72,756

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 交番相談員を平成29年3月に新設した出雲警察署出雲西交番へ2人配置し、昨年14交番28人体制が現在15交番30人体制となった。（前年比+1交番、+2人）
- 平成28年度の街頭活動時間は、767.5時間（前年比-7時間）。減少した主な要因は、熊本地震及び伊勢志摩サミット等全国規模の災害・警備への対応によるもの。
- 平成29年4～7月中における交番勤務員1人当たりの街頭活動時間は、月約63.5時間で、昨年度年平均64時間と比較して約0.5時間減少した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 交番相談員を全交番に2人ずつ配置していることで、従来、警察官が行っていた相談対応や地理教示等の業務を交番相談員も行うため、警察官の所内事務の軽減、効率化が図られている。
交番相談員の主要業務の年間取扱件数は次の通り。
 - ・相談受理件数 161件
 - ・地理案内件数 5,071件
 - ・遺失・拾得件数 6,829件
- 交番相談員の勤務時間の弾力的運用により、街頭活動を強化すべく薄暮時などに警察官がパトロールできるため、住民への安心感の提供につながっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 街頭活動時間の強化に伴い、職務質問による検挙にともなう書類作成時間が多くなり、結果的に街頭活動時間の確保が難しい状況にある。
- 交番勤務員の約4割を採用5年未満の若手警察官が占めており、書類作成等に時間を要している状況にある。

②困っている状況が発生している「原因」

- 警察事象が複雑化・多様化する中で、地域警察官の業務も増加傾向にある。
- 街頭活動強化により実績が向上するほど書面作成も増加する。

③原因を解消するための「課題」

- 交番相談員の効果的活用を図る。
- 若手警察官の早期戦力化を図る。
- 街頭活動時間確保に向けた交番内での事務の合理化・効率化を推進する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 交番相談員が持つ専門的知識の伝承教養等により若手警察官のスキルアップ等により街頭活動時間の確保を図る。
- 若手警察官の早期戦力化。
- 街頭活動時間を確保するため、業務の合理化・効率化の更なる推進を図る。
- 交番勤務員の街頭活動を強化するため、空き交番対策として交番相談員を継続的に配置する。